

体験活動型+在宅取組型(幼稚園)

学校名等	今渡幼稚園
実施日時	令和3年7月~9月
会場	今渡幼稚園
参加人数	全家庭
学習課題(分野)	家庭でお子さんと一緒に「廃材工作」に取り組んでみよう
運営者の願い	夏休みのおうち時間を利用して親子でふれあいながらできる廃材工作を企画した。牛乳パックやペットボトル、プリンカップなどを使って親子で廃材工作をすることにより、日々、時間に追われ忙しく過ごしておられる保護者の皆様にはほんのひと時、お子様と一緒に考え、切ったり、貼ったりの楽しい時間を過ごすことができる。

学習の内容

<4月;開講式で学級目標への願い>

- ・家庭教育学級は子育てをするすべての方に向けた子育て学びの場であり、情報や悩みの共有、子育てをする仲間づくりをすることが目的で『いま出来る事をやれるだけ!をモットーに今渡幼稚園で新しい発見(学び)や思い(悩み)を共有し、つながり(仲間)の輪を作ろう!』という学級目標を発表した。
- ・昨年度までは、参加したい方を募り参加してもらうエントリー方式をとっていたが、緊急事態宣言など先行き不透明で、今年度も集まることに多くの制限が予想されるので、エントリー制ではなく、学級生の対象を全園児の保護者として情報を発信していくお知らせした。

<7月;家庭教育学級通信「いまわ」を発行>

- ・在宅型取り組み No.1「夏休みの廃材工作」を発行して、以下の内容を連絡した。
- ① 家にある廃材(牛乳パック、プリンカップなど)を利用する
- ② 作品の回収期間(8月24日~8月30日)に作品名を付けて提出する
- ③ 作品例や廃材工作に関するおすすめ本の紹介する
- ④ 「牛乳パックで手提げかご」会員の作った作品例集の「ぬり絵付き冊子」を全園児に配付する
- ⑤ 作品を幼稚園で展示して、保護者が見る

<8月;作品展示会の開催方法を変更>

- ・9月1日~7日に作品展を開催予定だったが、緊急事態宣言の発令により、会場開催から Web 開催へと変更した。少しでも見た気分、行った気分になるため、写真という形で、自宅のスマホ、タブレットから QR コードにアクセスし、家族で楽しめる工夫をした。

<10月;アンケートへの協力依頼>

- ・今後の家庭教育学級運営の参考のために、参加の有無に関わらず、意見を聴取した。
- Q1. 親子で廃材工作に参加されましたか? はい・いいえ
- Q2. 「はい」で、参加された理由は? 「いいえ」で、参加されなかった理由は?
- Q3. 「はい」の方で、実際にやってみてどうでしたか?
- Q4. 「いいえ」の方で、QRコードはご覧になりましたか、いかがでしたか?
- Q5. 今回、初めて全園児を対象の家庭教育学級の取組企画を行ったことについて
- ・アンケートは各クラスの担任まで任意で提出した。

【QRコードで発信した作品】



【配付したぬり絵付き冊子】



<アンケートより>

- ・参加型では味わえなかった在宅取組型ならではの、子どもとじっくり向き合えるコミュニケーションのよさを感じることができた。
- ・今年度からすべての保護者が誰でも気軽に参加できる家庭教育学級を目指し、それが実現できた。



家庭教育学級への熱い願いがある。

コロナ禍で岐阜県下に緊急事態宣言金が発令されている状況にあっても、何とかつながりたいと、各家庭で親子一緒に作品づくりができるよう在宅取組型家庭教育学級を工夫して開催している。また、「ぬり絵付きの作品例冊子」を配付し、園児の取組意欲が高まるよう工夫している点が素晴らしい。

さらに、作品展では集まることを避けて、提出作品一つ一つを画像に撮り、QRコードを活用して Web 上で、いつでも見えるようにした。



家庭教育学級の学級目標が設定され、開講式では年間見通しやその意図が十分に周知されている。

また、今年度から誰もが参加できるように「学級生の対象を全園児の保護者に拡充」した運営方針への理解も図っている。

さらには、夏休みの取組アンケートの結果をもとに、冬休みの取組に生かしている。

